



大町商店街にある、キッズスペース併設の  
 コワーキングスペース「MARUWWAニコメ」。  
 そこに集うママや働く人々が自分たちの  
 目線で見つけた、これから活躍しそうな  
 ヒト・モノ・コトなど身のまわりの新しい芽。  
 それが「ニコメ(二個目のメ(目・芽))」です。  
 MARUWWAニコメ  
 〒017-0841 大館市宇字大町9  
 TEL:0186-59-5305  
<https://maruwwa.com/nicome/>



わたし目線でみつけたこの街の新しい芽

Vol.15

今月のメダマ

輝くあの人にインタビュー④

花で笑顔を開かせたい

Florist 花まん

代表取締役 阿部 純一さん

「注文した人も受け取った人も、笑顔になるような花を届けたいと思って取り組んでいます。」と話すのは、鹿角市花輪にある花屋「florist 花まん」の代表を務める阿部純一さん。

花屋に生まれた阿部さんは、東京の花専門学校でフラワーデザインを専攻。ヨーロッパフローリストの第一人者、レン・オークメイドに師事し、必死に技術習得のために取り組んだそうです。卒業後に鹿角へ戻った後も毎月東京へ通い、2001年に東北で初のCEF ヨーロッパ オランダ フラワーデザイナー国際ライセンスを取得しました。その後、全国で開催されるコンテストにも精力的に参加。感性や技術を高く評価され数々の賞を受賞し、全国にその名を馳せるようになりました。2008年に北秋田市で開催された全国植樹祭では、天皇



皇后両陛下のテーブル花装飾を担当。県内生産のバラやかすみ草、摘果した青りんごなどを自作の秋田杉の器に生け、行事に彩りを添えました。

北鹿ネコつながぎ



マル フウ  
 伊藤門くん、福くん(鹿角市)  
 ビビリな性格だけど好奇心  
 旺盛な2匹のツインメンズ  
 ♡♡♡

おすすめ絵本



『あなたがおとなになったとき』  
 文/湯本香樹実 絵/はたこうしろう  
 出版社/講談社

絵本は5分ほどで楽しめる一編の映画のようなもの。大人の心にも響く素敵な絵本をご紹介します。

「人生はおもいがけないものでいっぱい森 その森のおくふかくにふみこんでゆく」

子供の頃、大人になった自分を誰もが一度は頭に描き、わくわくしたり不安を抱いたりしたことがあると思います。この本は「あなたがおとなになったとき」というメッセージで各ページが綴られています。はたこうしろうさんの爽やかな色遣いと湯本香樹実さんの流れるように語られる言葉にひきこまれていきます。

これから新しい一歩を踏み出す若者にもおすすめの絵本ですが、「今」を見つめる大人にぜひ手に取っていただきたい一冊です。

【この絵本を紹介してくれた人】 池島未和さん  
 「おはなしの森」所属。図書館や保育園、小学校などで読み聞かせ活動を行なっています。



阿部さんと看板猫のオセロちゃん

Florist 花まん

〒018-5201  
 秋田県鹿角市花輪字六月田54-2  
<https://hana-man.com>  
 Instagram @florist\_hanaman

こそだてコラム

2021年 育児の役割分担  
 子育て中の一人時間

～後編～

私がパーソナリティをしている「かだる!! 子育てラジオ」で、「育児分担」をテーマにゲストをお呼びしてお話を聴きました。父親と母親の役割分担をしっかりと決めるのではなく、臨機応変に対応している様子が聞かれました。夫婦お互い様という尊重の気持ちが、やはり大切ですね。とは言っても、育児休暇中の母親は一人時間がもてません。父親も仕事して帰ったらひと休み・・・とはいかず、愛おしい我が子とはいえ、ちょっとだけ一人時間が欲しいなあと思うことはありませんか? ゆっくりお風呂にはいりたい。ごはんもゆっくり食べたい。しっかり寝たい。たまには手の込んだ料理を作りたい。お部屋のお掃除もしたい。美容院に行きたい。趣味の時間も欲しい・・・。授乳中の時期であれば、父親に預けて1時間ほどゆっくり買い物するだけでも、母親は気分転換できます。父親には1カ月に1

日フリーデイを作ったりすることもあるようです。夫婦共仕事をしながらの子育てなら、休みの日は子どもといる時間を思いっきり楽しもうと思う反面、時には一人時間が欲しいなあと思うこともあるでしょう。気持ちに余裕がなくなると、お互いイライラすることも必ずやあります。そんな時は「今、何をしたい?」って語ることはどうでしょう? 気持ちのリセットはとても大切です。多くの時間でなくても、ひと時の自分時間を楽しむことで、夫婦関係の緊張が解けたり、育児するエネルギーにもなったりするのではと思います。



イラスト: さわたのりこ

いしころキラリ

8月8日は  
 プチプチの日

川上産業のオリジナルプチプチグッズをMARUWWAで配布!

梱包の緩衝材としてなじみのプチプチを日本で初めて製造・販売したのは、MARUWWAにサテライトオフィスをおく川上産業株式会社です。同社の登録商標であるプチプチが、数字の8を連想させること、指でつぶすと「パチパチ(88)」という音が鳴ることから、日本記念協会によって「プチプチの日」が認定されました。今年は8月8日にあわせ、プチプチだけのイベント「超プチプチ祭り!!」の開催が企画されています。

毎年この日、営業所がある地域の駅前などでオリジナルグッズの配布やイベントを開催しています。まもなく迎える「プチプチの日」、MARUWWAにもオリジナルプチプチグッズが設置されます。歴代のグッズは、ティッシュケースやうちわなど。今年は「プ」の吹き出しがあしらわれた爽やかなブルーのカードケースです。再生原料を使用した材質のプチプチが、名刺やカード類の四隅が折れないようにやさしく守ってくれます。カードケースの配布は8月6日から。MARUWWAにお越しの際には、暮らしに嬉しいプチプチをぜひお持ち帰りください!

MARUWWA(マルーワ)  
<https://maruwwa.com/>

超プチプチ祭り!!



川上産業株式会社